

**鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会
議事録**

日時：令和4年9月11日（日）

14:00 ～ 15:30

場所：摂津市立 新鳥飼公民館

【出席者】

■住民：46名

■運営関係者：

	所 属	役 職	氏 名
摂津市	—	副市長	福渡 隆
	市長公室	室長	平井 貴志
	〃 政策推進課	参事	湯原 正治
	〃 政策推進課	主幹	衣川 智久
	〃 政策推進課	副主査	近重 佑太郎
	総務部	理事	辰巳 裕志
	〃 防災危機管理課	課長	竹下 博和
	生活環境部	次長	丹羽 和人
	建設部	参事	寺田 満夫
		次世代育成部こども教育課	課長
株式会社	まちづくり計画部計画設計課		井上 敬雄
オオバ	〃		伊勢 聡史

【議事次第】（司会：近重副主査）

1. 開会

2. 出席者紹介

3. 資料説明 （福渡副市長・衣川主幹）

- ・鳥飼まちづくりグランドデザインについて ：福渡副市長
- ・鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会での住民意見まとめ ：衣川主幹
- ・居住性向上エリアAご意見シートの記入方法説明 ：衣川主幹
- ・居住性向上エリアAについて前回説明会で頂いた住民意見まとめ ：衣川主幹

4. 質疑応答 （応答：福渡副市長ほか）

5. 閉会

【配布資料】

- ・鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会（令和4年9月11日開催） スライド資料
- ・鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会（令和4年9月11日） 別冊参考資料
- ・ご意見シート

【質疑応答議事録】※質疑応答の区切りを、奇数回・偶数回で色分け。

1	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料の①グランドデザインを実現するための進め方等で、桜堤の提案と淀川河川公園の活用の提案については配慮事項に記載されていないが、市として前向きに検討していくという認識で良いか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・桜堤については色々と課題はあるが、鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会でも議論された話なので、方向性としては考えているが、個別事業として議論が動き出したときに、改めて議論の場を設ける。 ・個別具体の提案についての議論は、この場では行わない。まずは鳥飼地区においてどのようなまちにしたいのかについて多くの住民から意見を聞き、意識合わせを行いたい。まちの将来像を固めてから、個々の問題について議論を行う。
2	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料で、道の幅を広げるという提案があったが、堤防下の道路の拡幅という認識で良いか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・道を広げる必要性は鳥飼地区全体における共通課題であると認識している。堤防下の道路も含め、個別事業として動き出したときに具体を議論する。
3	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・今回初めて説明会に参加し市の思いは理解したが、この会で私たちに問われているのは何か。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・2年前に住民の皆さんからいただいたご意見（アンケート調査等）をベースに、鳥飼まちづくりグランドデザイン（以下、グランドデザイン）を策定している。まずはこれで良いか、足りないことはないかという意見を聞きたい。 ・桜堤、道路等の個別の意見を出していただいても良いが、今は方向性として良いかを確認したい。個別事業の議論の場は後日設けるので、今はグランドデザインの大枠として住民の皆さんの意見を聞きたい。
4	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインは将来のイメージであることは分かったが、実現できるか分からない。鳥飼地区では昭和60年代に土地区画整理事業が行われ、その当時は土地のほとんどが田園であったため、エリアごとの方針に基づいた土地利用を行うことができる状況であった。しかし現在は、準工業地域として既に様々な用途の建物が立ち並んでいる状況であり、グランドデザインは絵に描いた餅ではないか。 ・私は、現在の鳥飼地区のまちづくりとして住民の意見を聞いて進めていくことを期待して、この説明会に参加した。グランドデザインは初期段階での方針であり、孫子の世代まで残していけばまちづくりの参考になると思う。しかし、茨木市のように現在、土地区画整理事業が行われている地域ではエリア別のまちづくりを行えるが、鳥飼地区は土地区画整理事業から40年近く経過し、環境が変わっている。今できるまちづくりの話をすべきである。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・目先の問題が多いことは分かっているが、これからは人口が急激に減少し、地域間の競争が激しくなることが予想されているため、住民の皆さんとまちづくりの計画段階から方向性について共通の認識になっておく必要がある。市が独断で将来像を立てて、独断で進めても良いまちづくりはできない。人口が減っ

		<p>て若い世代が減っていく問題を、それぞれの地域がどうやって乗り切るのかを本気で考え、共有していくことが必要であると思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在とりまとめたグランドデザインには、実現できない計画はないと思っている。皆さんと方向性がしっかり共有できれば、実現できるものであると思っている。
5	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料 p. 17 にて、「概ね 10 年を目途」と書かれているが、求められている住民意見は今後 10 年の方針についてということか。 ・子どもが減っていく話があったが、高齢化も進んでいる。高齢者は更に足が悪くなっていく。10 年後を考えるとということがあまりピンと来ていない。 ・公共交通の便の悪さや渋滞の多さを感じており、まずは交通の問題に力を入れるべきではないか。 ・住民からいろいろな意見を拾い、早期に取り組むべきものはすぐに取り組む等、問題ごとに取り組み始めるタイミングを考え、スケジュールを立てていくべきではないか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・「概ね 10 年」というのは計画更新の目途のことであり、その時点の情勢などを踏まえて内容の更新を行う。変更のない取り組みはそのまま残し、見直す必要があるものを見直していき、グランドデザインをその時代に合った生きた計画に変更して取り組んでいく。 ・若い世代だってそのうち高齢化する。若い世代だけを対象とするつもりはない。 ・公共交通の改善に向けた施策は現在、進行中である。摂津市において、どのような地域公共交通が良いかを検討している。 ・交通の便が良い／悪いという点だけで、住む／住まないが決まる時代ではなくなってきたと考えている。そういった部分以外でも、摂津市のまちの良さはあり、それをより活かしたまちづくりをしていくことが重要。大阪都心に近いにもかかわらず、鳥飼地区は高い建物があまりなく、水田が有り、水路があり、空が広いという良い環境が広がっており、都会のまちとしては稀有な特徴を持っている。そういった良さを残して、将来に結び付ければ若い世代が住み続けてくれるまちになると考えている。 ・市は、基本的に全ての問題について様々な方法で取り組むつもりである。時間はかかっても、少しずつ全ての問題に取り組んでいく。
6	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな環境の変化から交通渋滞はなくなるだろうが、そういった長期的な考え方では間に合わないのではないか。 ・市の財政状況から考えると、全ての問題について取り組むことは難しいのではないか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関しては、取り組み始めている。こういった問題は全国各地でも同様に起きており、摂津市も取り組んでいる。市の取り組みを信用してほしい。
7	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・前回説明会でこういう話をしてもらえればよかった。 ・すぐに取り組むべきことは交通渋滞と防災についてであり、それらに取り組みながら将来に向けての考え方がグランドデザインであるという認識である。

		<ul style="list-style-type: none"> 意見整理の部分について、解釈が合っているものとそうでないものがあると思った。その調整には議論が必要であるが、この説明会の形式では無理ではないか。 他市のまちづくり条例・まちづくり協議会の制度のように、住民の代表がそれぞれの立場からの議論を行える仕組みを摂津市でもつくってほしい。それによって、市の行政経営戦略でも掲げている「協働」が果たせるのではないか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> 住民意見の細部については、このような場で皆さんと議論するのは難しいと認識しているが、今回は意見を集め、皆さんと共有化する場として設けている。次の段階では、異なる形式を考える。 条例があろうがなかろうが、このグランドデザインは、住民等の皆様と将来予想を共有しながら、協働してやっていきたい。
8	住民	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会のような、様々な立場を代表する住民が集まって議論する組織がないと、本当の意味での意見が出せないのではないか。様々な情報の共有を行うためにも、まちづくり条例のような法的な根拠が必要ではないか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> 意見をいただく体制については市でも検討している。 前提として、市が持っている情報については市 HP の他で公開するとともに、窓口で聞いてもらえれば全てお答えする。
9	住民	<ul style="list-style-type: none"> 条例の有無にかかわらず、まちづくり協議会の設置はできないのか。そういった場を設け、議事録を残さないと意見が一方通行となり、忘れられていくのではないか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> 皆様のご意見については、そういうことはないように努める。
10	住民	<ul style="list-style-type: none"> グランドデザインの最終目標は何か。スライド資料 p. 4 にて、将来人口は全国的に減少していくことを示していたが、吹田市や高槻市、茨木市等の近隣市から人口を動かすつもりなのか。鳥飼地区をベッドタウン化するのか、企業誘致して働ける場にするのか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市から人口を動かすというよりも、近隣市に負けないような摂津市の良いところを残し、あるいは作ることで、若い人に居住地として選んでもらえるようにしていきたいと考えている。今住んでいる人や企業の気持ちも良いまちにすることで、今いる人等も住み続け、そして新たに若い人が住み始めるまちにできると考えている。
11	住民	<ul style="list-style-type: none"> 公園は雑草だらけで管理が行き届いていないのに、きれいなまちにできるのか。一体、何の意見を聞きたいのか。みんなで掃除しましょうというような話なのか。それだったら、市役所ならすぐに働きかけられるのではないか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> 市でも公園の管理はしているが、利用している近隣住民の方にもお願いできるところはお願いしたいと考えている。役所ができることと住民の方ができるとの役割分担を行い、協働で取り組んでいきたい。

12	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やすには行政サービスの向上が一番であると思う。 ・予算が余っていると聞いたが、その分をきれいな公園への管理費に使うというのはどうか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスからではなく、まずは、まちづくりの意識を住民の皆さんに持っていただき、それを行政が支えるという協働の体制で取り組んでいくことが重要と考えている。
13	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防管理道や河川敷をよく利用するが、除草の頻度を増やしてほしい。
14	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料 p. 27 にて、今は第2段階（住民等との対話による、将来予想の磨き上げ、実現に向けた取組検討）であるとのことだが、ランドデザインの共有からやり直す必要がある。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・今回についても、ランドデザインの共有のために説明をしているつもりである。必要に応じて共有は行うこととして、次の段階に進めていきたい。 ・堤防の除草については、国も維持管理の予算がどんどん削られているという実情もあるが、防災ステーションを進める中で出来るだけ住民の皆様の意見を反映していきたい。
15	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの減便が進んでいるので、対策をお願いしたい。 ・プロ野球の中日ドラゴンズ監督の立浪監督の出身が摂津市であることを活かして、市としてもっと盛り上げてほしい。 ・防災協力農地の趣旨と場所についての広報をお願いしたい。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・防災協力農地の広報については、今年度から立て看板を設置することを予定しており、手続きを進めている。
16	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・意見シートにしっかりと意見を書くために、この場はいったん持ち帰り、自治会長が集めてはどうか。
	市	<ul style="list-style-type: none"> ・そのように対応する。今回、出席された自治会長の皆さんにご協力いただきたい。 ・また、本会場である新鳥飼公民館でも意見シートを提出できるようにする。
17	住民	<ul style="list-style-type: none"> ・今日初めて来た方には、居住性向上エリアAがどこのことか分からないのではないかと。
	市	<p>(前回のスライド資料を投影し、説明。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住性向上エリアAは、府道大阪高槻線より南側の淀川堤防沿いまでの地域（鳥飼上一丁目から鳥飼西四丁目まで）。鳥飼まちづくりランドデザインの本編にて示しているので、入口に置いているものを参照願いたい。

以上